

青空会 ニュース

〔第231号〕

2020年05月10日発行

発行：小林恒量

発行担当：中田百穂

自粛、ステイホームが定番となり、GWも撮影どころではありませんでしたが、少し希望が見えて？
6月にはあじさいを撮れる状態になるかも、とりあえず5月末まで撮影に耐える体力をつけましょう！

1 第19回写真展

第19回写真展は今の状況では予測できませんが、とりあえずは7月9日の抽選次第です。
自粛で撮影もままならぬ昨今、課題の「街の風景」はイメージで試みるチャンスかも知れません。

2 2020年4月例会は新型コロナウイルスの為中止いたしました。(5月例会も中止です)

3 2020年5月以降の予定

- ・2020年 6月30日(火) 例会 麻生市民館 第1会議室 13時15分開会
- ・2020年 7月21日(火) 例会 多摩市民館 第1会議室 13時15分開会
- ・2020年 8月18日(火) 例会 麻生市民館 第1会議室 13時15分開会

4 合評会

例会が3月、4月(5月も)と中止となり、会員交流の機会がなくなりましたが、現在はHP上にて合評会の項(会員ページ)が新設されています。写真投稿、批評、ボランティア写真選考等協力下さい。

5 写真(今回は過去の写真等自由投稿です)



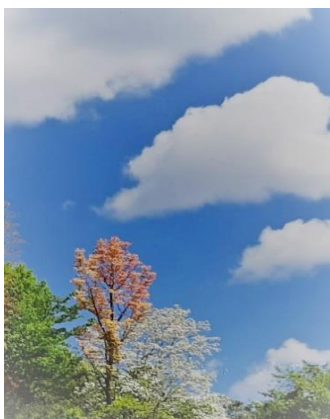
野の花もオリンピック 島田会員



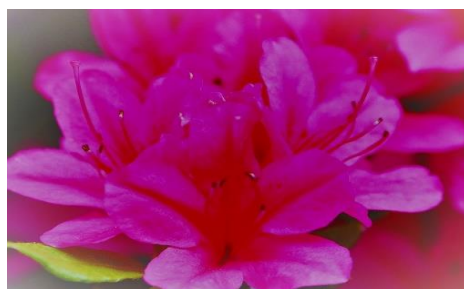
これぞチューリップ 島田会員



今年も見つけた金蘭 島田会員



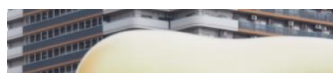
青空に魅せられて 小川会員



ふんわりといい気分 小川会員



想像して見て 小川会員





カッパドキア雪景色 1月撮影 伊藤会員



隅田川観光船乗り場 伊藤会員



石川県加賀銭湯 伊藤会員



昭和記念公園 山田会員



上高地 山田会員



風の盆 in 八王子 山田会員

□ 「風の盆」を撮る

山田

感性と機材とモデル。いい写真を撮るにはセンスと金がない。美人モデルも歳とった。その点カラオケはセンスと金がなくても、練習を繰り返すことである程度上達できる。最近よく歌っているのは、石川さゆりの「風の盆恋歌」。1989年の日本レコード大賞最優秀歌唱賞受賞曲だ。

蚊帳(かや)の中から花を見る
咲いてはかない 酔芙蓉
若い日の美しい 私を抱いてほしかった
しのび逢う恋 風の盆

作詞はなかにし礼。なかにしが同じ頃作って菅原洋一が歌った「風の盆」もある。

哀しい時は目を閉じて 八尾の秋を思い出す
.....

女房に言わせると、なかにし礼は女垂らしだから嫌いとのこと。でも、なかなか意味深ないいい詩だ。

「おわら風の盆」は富山市の八尾町で毎年9月1日～3日まで開かれる。胡弓の哀愁を帯びた曲に合わせて、一晚中街中を流し歩く。来秋には訪れて、心ゆくまで撮ってみたい。

グリーン車に乗って出掛け、八尾の町に泊まる。翌日は加賀屋の「雪月花」に泊まり部屋食。帰りは新幹線のグランクラスで優雅に帰郷する。2泊3日の豪華な旅だ。

資金は安倍さんからいただく、10万円の「特別定額給付金」X2。

またまた声あり。「私は行かないから一人で行って来て」

ところで皆さん、汚れと異物の混入した「アベノマスク」はもう貰いましたか。





(1) 迷路の旧市街 小林会員



(2) フナ広場 小林会員



(3) ヴォリビリスの凱旋門 小林会員

□ 「2009年の思い出」

T.Kobayashi

この年は2月モロッコ、5月クロアチア他5カ国、12月エジプトを旅をした。

足利・館林や、道北・利尻・礼文島にも行き旅の多い年でした。

何処も記憶に残る処でしたが、モロッコは特別な感慨があります。

現地のガイドが、モロッコでは白人の家族に黒い肌の子供が生まれても誰も疑問を持たない多人種MixのDNAの国と言っていました。多様な文化、多様な歴史、多様な宗教をベースに一大帝国を築いたローマ帝国の姿を体感できた想いでした。3枚の画像でこの国の旅を伝えることは無謀ですが、3点添付しました。

(1)は外部からの侵略防止に迷路にした旧市街(世界遺産)の通りの一部です、狭い路地が多く、曲がりくねった通りに並ぶ雑多な商店、物資を背負ったロバ、独特の臭気、異文化そのものでした。

(2)は必ず訪れる広場です。世界遺産の「ジャマ・エル・フナ広場」(死人の広場: 処刑場の跡地)です。衣・食・用具・娯楽の全てが揃っている広場で、夕刻ほど現地人と旅行者の群れが増す独特の場所です。モロッコの今が体験できる代表的な場所で様々な体験が出来た。

(3)は2000年前のモロッコ最大の遺跡「ヴォリビリス」(世界遺産)の凱旋門です。此処の遺跡は広大で美しいモザイクタイル画の床が多数発掘されていました。凱旋門から続く長い通りには当時の高級住宅が連なるメインストリートと様々な役所や神殿跡があります。様々な国のローマ遺跡と比較しても、この地の遺跡の規模はイタリアのポンペイやトルコの「エフェス遺跡」並でした、トルコのエフェス遺跡の図書館や円形劇場などの建築物が素晴らしい状態で残されていること、円形劇場の最上階から眺める風景はローマ帝国の統治力を体験できる規模と造りに圧倒されましたが何故か世界遺産に申請していない遺跡です。

モロッコはアフリカ諸国では治安の良い王国です。地勢的には2500kmに及ぶアトラス山脈(4000m以上の高山)が複数ある山脈、小アトラス、オートアトラス、中アトラスから成る山脈が東西に横たわり、北側は地中海に面し肥沃な農耕大地でローマの穀倉地帯として紀元前より属州として統治され、現在もモロッコの農業を支えている、反面南側はサハラ砂漠で不毛の大地ですが多様な地層から鉱物資源に恵まれ、モロッコの工業を支えています。豊かな自然と厳しい自然の両極を有する悠久の国、多民族文化に触れた感動は今も蘇り、心の財産です。



撮影会 2012.09.25 日向薬師 中田会員

入会して初めての撮影会
ニコンD3を使用していたYさん、今も
元気で車中泊で、富士山撮影かな



バス撮影会 2012.10.23 照葉峡 中田会員

雨が降って濡葉峡でしたが
帰路健康ランドに立ち寄り一風呂
脱衣所に腕時計置き忘れトホホ・



撮影会 2012.12.03 明月院 中田会員

撮影に行く北鎌倉はまた別物
内田先生と食事した駅前のソバ屋
寒さの身に美味しかったな!





むつ市脇野沢九艘泊1 岩崎会員



むつ市脇野沢九艘泊2 岩崎会員



むつ市脇野沢九艘泊3 岩崎会員

□ 思い出の撮影場所(2016年1月撮影)「青森県むつ市脇野沢九艘泊」

E.Iwasaki

九艘泊は下北半島の南西端の漁村。その立地のため、江戸時代には早くから港町として発展しました。九艘泊には廻船問屋も置かれたのかもしれませんが、現在の風景はまったくの漁村です。

耕作地は少なく袋状の入り江に面して舟小屋を並べ、その後方に主屋を建てています。

◎ 新宿から夜行高速バス一戸ーむつ市一尻屋岬の寒立馬撮影一脇野沢の最北端の猿・かもしか撮影ー青森市から夜行バスで新宿へ…大変な撮影旅行でした。



□ レンズの小話～放射能レンズ(俗称アトムレンズ)～

E.Iwasaki

昭和40年から昭和52年にかけて、日本のレンズメーカーは屈折率を高めるため、ガラスの材料の中に酸化トリウムという放射性物質を含有させていました。(ニコンは除く)現代のレンズ等で使われている蛍石を使うのと同じような目的です。このアトムレンズの特徴として、自ら発する放射能のせいか、レンズが黄ばんでいます。デジタルで撮るにはホワイトバランスでどうにもなりますが。

長時間に直接肌に触れていなければ健康に問題ないレベルの放射線のようなようです。

特に酸化トリウムの含有率が多かったのがペンタックス・キャノン・ヤシカのようです。

私は偶然3本のアトムレンズを保有しています。ペンタックスはタクマー55mm F1.8・マクロタクマー50mm F4
CANON NFL F1.8の場合、前期型という絞り込み開放切り替えリングが前の方にあるデザインのものに酸化トリウムを使っていたそうです。

◎ 文部科学省における平成17年9月27日のペンタックスの報告によると、20キロの酸化トリウムを含む光学片を保管しているというものです。その報告を受け原子力安全課では調査員を派遣し保管状況を確認し、安全性が確かめられたとしています。ペンタックスによりますと、昭和40年頃から昭和52年に掛けて当該光学片を購入し光学レンズとして加工していたとされています。なお昭和50年代の後半には事業所の保管ピットに移動したとのこと。

(以上文部科学省資料)